

令和7年度 家庭教育学級の学習の足跡

第	テ ー マ	
8 回	ドローンプログラミング	
講 師		参加者数
山口県立山口博物館 西村 紀昭さん		児童1名 大人4名
<div data-bbox="261 472 724 819" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="847 472 1319 819" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="593 824 1023 1146" data-label="Image"> </div> <p>山口県立山口博物館 博学地域連携事業担当 西村 紀昭さんをお招きして、「プログラミングとドローン」についての学習を行いました。</p> <p>はじめに、すでに自分たちの身近な日常生活の中で活躍する、さまざまな自動機械、工業用ロボット、掃除ロボット、信号機、仕分けロボットなどの紹介が画像でありました。これらは、自ら動いているように見えても、その中でプログラムが働いていることにより、素早く正確な働きができていたことが良く理解できました。</p> <p>次に昆虫(芋虫型)ロボットのプログラミングを行いました。芋虫の体の節にあたる部分一つ一つに「前進」「左右に曲がる」「音楽を奏でる」などの機能があり、これを本体にやらせたい順に結合していくと、その通りに動くというロボットで、全員で何種類の組合せを試しました。</p> <p>ドローンのプログラミングは、電池の充電状態や操作タブレットとの相性、エアコンからの風、潜り抜けるフープが置いてある椅子の座面など、多くの複雑な影響を受けます。それでも全員で2班に分かれて、講師から提示される飛行コースを素早くこなしていき、参加児童も地域の方との会話しながらプログラムを組立て、直角交差フープ2個くぐりを時間内に達成することができました。大人だけのチームもよく相談し合い、操作初心者の女性学級の方の入力で、見事な飛行が成功するなど、有意義な講座となりました。</p>		